

社会資本総合整備計画書

神奈川県湯河原町

平成28年1月

社会資本総合整備計画

平成28年1月25日

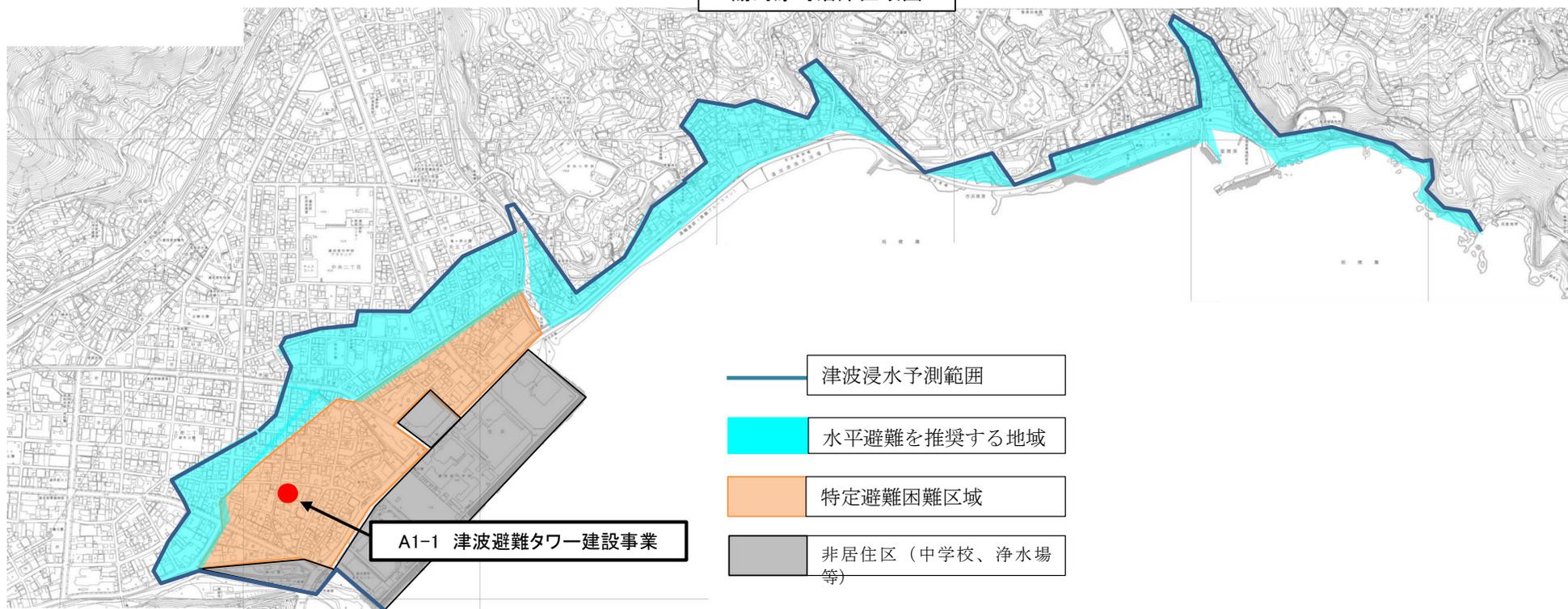
計画の名称	安全・安心の確保、災害に強いまちづくりⅡ期（防災・安全）							重点計画の該当								
計画の期間	平成27年度～平成28年度（2年間）			交付対象	湯河原町											
計画の目標	津波避難タワーを新たに建設し、津波発生時における付近住民の迅速な津波避難行動を促進する。															
計画の成果目標（定量的指標）	浸水予測地域内に津波避難タワーを建設することにより、津波到達時間である6分以内に海拔14m以上の施設へ避難可能な人数の増加を図る。															
定量的指標の定義及び算定式	津波到達時間までに避難が可能となる人数の増加を図る。					定量的指標の現況値及び目標値			備考							
						当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H28末)								
	津波到達時間までに避難が可能となる人数＝避難可能圏域内の居住人口 避難可能圏域内の居住人口＝ $\pi \times (\text{避難可能距離})^2$ 内の居住人口 避難可能距離＝避難可能時間×健常者移動速度（1m/s） 避難可能時間＝津波到達予想時間（仮6分）－避難行動開始時間（5分）＝（仮1分）					0人	130人	130人								
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	60.0百万円	A	60.0百万円	B	-	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 $C / (A+B+C+D)$	0.0%				
交付対象事業																
A1 市街地整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
A1-1	防災	一般	湯河原町	直接	湯河原町	津波避難タワー建設事業	津波避難タワー、備蓄倉庫	湯河原町	H27	H28	H29	H30	H31	60.0	-	
小計（市街地整備事業）													60.0	-		
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H27	H28	H29	H30	H31			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

(参考図面)

計画の名称	安全・安心の確保、災害に強いまちづくりⅡ期（防災・安全）		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成28年度（2年間）	交付対象	湯河原町



湯河原町沿岸区域図



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称： 安心・安全の確保、災害に強いまちづくりⅡ期(防災・安全)

神奈川県湯河原町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○